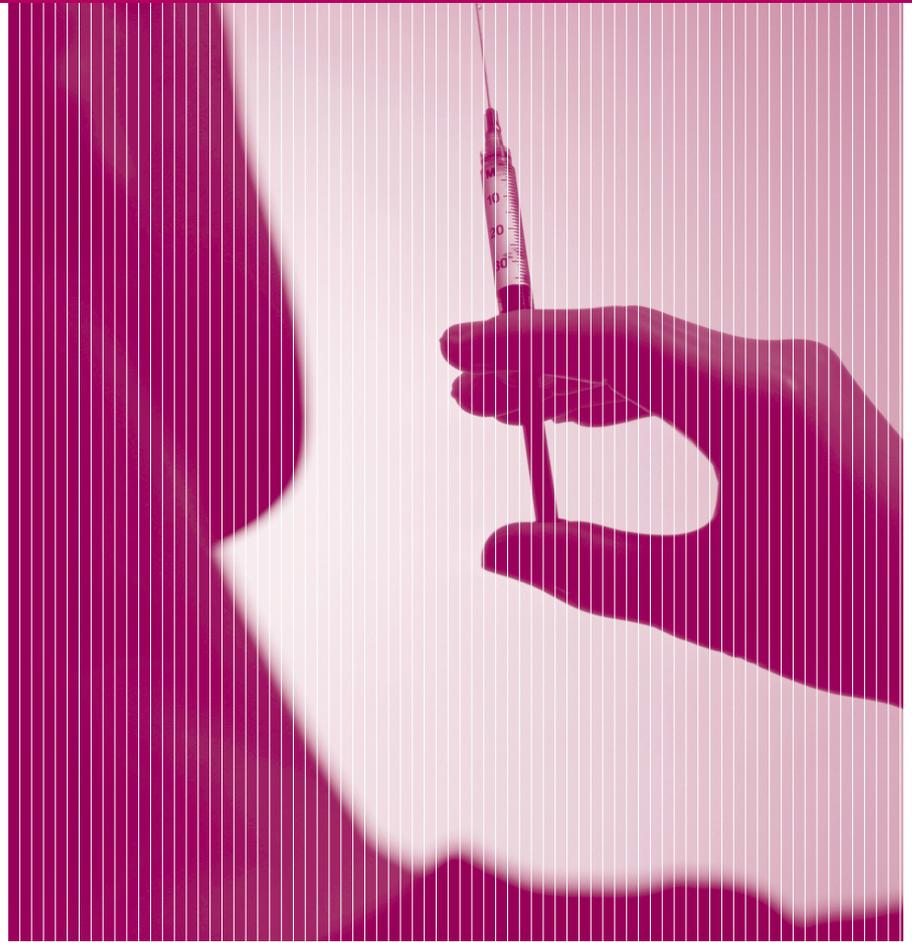


# ミッドナイト・エクスプレス

## 薬剤証明書の旅行医学

篠塚 規 (オプベイスメディカ・医師)



世界各国、麻薬の取締りに関連する厳格な法律があります。注射器・注射針や薬剤は、癌の疼痛のためのものから睡眠薬、そしてこれらと誤解されやすい白い粉薬に至るまで、出入国時に際して、厳重なチェックが行われます。

個人を尊重する欧米では、手荷物検査を受けることはめったにありません。しかしチェックされたときに、適切な英文の薬剤証明書を持参していないために起きるトラブル発生数は決して少なくありません。アメリカでも、毎年何人かの日本人がこの件で逮捕、留置されています。

今回は、薬剤、注射器に関する世界の標準ルールを米国の例で解説します。ヨーロッパ、東南アジア、中南米もほぼ同様のルールです。

### 注射器所持の標準ルール

インスリン注射やインターフェロンを打ちながら旅行する方や医療衛生事情の劣悪な地域に出かける旅行者が、ディスポの注射器などを持参する場合は、必ず英文書類が必要です。これは、麻薬、覚せい剤の使用に悪用されるため、ほとんどの国での出入国時の取締り項目に注射器と注射針が該当しています。必ずしも申告する必要はありませんが、手荷物検査でチェックされた場合、適切な証明書の呈示がないと、没収が原則であり、不自然な量の注射器を持参していると疑いが晴れるまで留置されることもあります。

英文の公用文書の要件を備えていれば  
どのような型式でも構いません。

表1は、白血病のためインターフェ  
ロンの治療中の方のために作成した書  
類です。自己使用の目的であること、  
つまり他人に売ったりする意図のない  
ことを明確に記載し、品名、数量、責  
任のある医師の氏名、住所、連絡法と  
そのサインが最低限必要です。型式  
は、ブロック体とし、できれば施設名  
を英語で印刷したステーションナリーの  
使用が望まれます。

欧米人旅行者が必ず持参するこの  
ような書類を、日本人旅行者はこれ  
まで持っていなくても大丈夫だった  
とか、主治医に正しいアドバイスを与  
えられていないために携帯せずに旅行  
をしているのが現状です。是非、世界  
のスタンダードルールを患者さん方に  
説明し、トラブルを未然に防いでくだ  
さい。

### 薬剤所持の標準ルール

「ミッドナイト・エクスプレス」とい  
う古い映画があります。中近東へ旅し  
たアメリカの若者が、麻薬をもって  
いたために逮捕され、不当に長い間不潔  
な異国の牢獄で辛酸をなめ、最後に脱  
獄に成功するといった実話に基づいた  
ストーリーです。

OF BASE MEDICA CORPORATION

Travel Medicine for All  
**OBM**

**Medicine & Medical kit Certificate**  
date: May 10, 2000

name: ○○○ ○○  
address: XXX XXXX1-2-3 Tokyo, JAPAN  
date of birth: Jan. 2, 1945

Mr. ○○○ ○○ carries the following items for his leukemia treatment.

1. Interferonalfa (Sumiferon 600million I.U.)
2. disposable Syringes & Needles

The amount of vials & needles depends on travel length.  
( 3 injections /week + reserve sets )

Regarding used needles, he will bring them back to ○○○Medical College  
Hospital in Japan for disposal.

If you need further information about this client, please reach  
T. SHINOZUKA M.D. via Internet (OMMNT@mail.root.or.jp) .  
FAX (81-3-3403-5861) or TEL(81-3-5414-7100)

SHINOZUKA Tadashi M.D.

signature 

Sendagaya, 1-28-8-402, 5thbuys-Ro, Tokyo, JAPAN  
Tel: 3-5414-7100 Fax: 3-3403-5861 E-mail address: OMMNT@med.root.or.jp

表1 インターフェロン自己注射中の白血病をかかえた旅行者のために作成した書類

アメリカへの麻薬およびその関連薬物の持ち込みは、禁じられています。  
これに違反すると重罪となります。

習慣性を生ずる薬や医療用の麻薬:例えばせき止め、利尿剤、心臓薬、鎮痛剤、睡眠剤、抗うつ剤、  
刺激薬などは、次の手続きが必要です。

1	薬剤や類似物は、適切な表示が必要です。
2	滞在に必要な量と予備だけを持参してください。
3	主治医からの使用法などの指示を明記した書類が必要です。
4	必ず税関で申告して下さい。
5	できれば、万一必要になったときのために、連絡のとれる主治医の電話番号も明記して下さい。

表2 アメリカにおける薬剤持ち込みに関する現行ルール



世界中麻薬を合法としている国は1  
つありません。

アメリカを例に「薬剤証明書の旅行  
医学」を解説します。

日本の高齢者、障害者、長期滞在  
者は必ず、英文の薬剤証明書を持参  
することが賢明です。そして日本人に  
は意外と思われても、白い粉薬は全て  
麻薬の疑いをかけられかねません。そ  
のうえ、日本でしか通用しない名称と  
言葉のハンディで起こるトラブルも少  
なくありません。もちろん、癌の痛み

止めとしての麻薬類、睡眠薬や安定  
剤、そしてせき止めとしての麻薬を持  
参する場合は、英文薬剤証明書を必  
ず持参し、申告することが連邦法で定  
められています。

表2は1999年5月にロスアンゼルス  
U.S.カスタム・オフィスのMicheal W.  
Morrow氏からのアメリカにおける薬  
剤持ち込みに関する現行ルールの原文  
の要旨です。

この手続きの根拠は表3の通称Fed-  
eral Controlled Substance Act(麻薬  
取締り法)によるものです。正式な法

律名はTitle II of the Comprehensive Drug Abuse Prevention and Control Act of 1970で、1984年に一部修正されています。

I群(Schedule I)からV群(Schedule V)に麻薬や類似薬を分けていますが、

この内、I群(ヘロイン、マリファナ、LSDなど)の所持は犯罪となります。II~V群を携帯する場合は、前述の書類が必要です。

表4は、シドニー・パラリンピック参加選手の薬剤証明書を修正したも

のです。当たり前の注意ですが、薬剤名は成分名を書き( )の中に商品名を記載します。約2万点に及ぶ日本の商品名は、海外ではそのほとんどが通用しないため、商品名だけの記載は役に立たない書類になってしまいます。海

### 第1群

米国においては、医療上の使用を認めていない薬剤(乱用性が高い)

(例)ヘロイン、マリファナ、LSD、ペヨーテ、メスカリン、プシロシビン、メタクワロン

### 第2群

乱用性が高い薬剤(重度の依存性がある)

(例)アヘン(オピウム)、モルヒネ、コデイン、フェンタニール、ヒドロモルホン、メタドン、メペリジン、オキシコドン、オキシモルホン、コカイン、アンフェタミン、メタンフェタミン、フェンメトラジン、メチルフェニデート、フェンシクリジン、アモバルピタール、ベントバルピタール、セコバルピタール

### 第3群

乱用性は比較的低い薬剤(依存性は中程度)

(例)バルピツレート、ゲルテチミド、メチプリロン、ナロルフィン、ベンズフェタミン、クロルフェンテルミン、フェンジメトラジン、アヘン安息香チンキ、アモバルピタール、セコバルピタール、ベントバルピタールを含む座薬タイプ

### 第4群

乱用性が低い薬剤

(例)バルピタール、フェノバルピタール、メフォバルピタール、抱水クロラール、エトクロルピノール、エチナメート、メプロバメート、パラアルデヒド、メトヘキシタール、フェンフルラミン、ジエチルプロピオン、フェンテルミン、クロルジアゼボキシド、ジアゼパム、オキサゼパム、クロラゼパート、フルラゼパム、クロナゼパム、プラゼパム、ロラゼパム、アルブラゾラム、ハラゼパム、テマゼパム、トリアゾラム、メブタノート、デキストロプロボキシフェン、ベンタゾシン

### 第5群

乱用性はほとんどないが、少量の麻薬を含む薬剤

通常鎮咳または下痢止めを目的とした薬剤

表3 米国麻薬覚醒剤取締り法



表4 シドニー・パラリンピック 参加選手の薬剤証明書

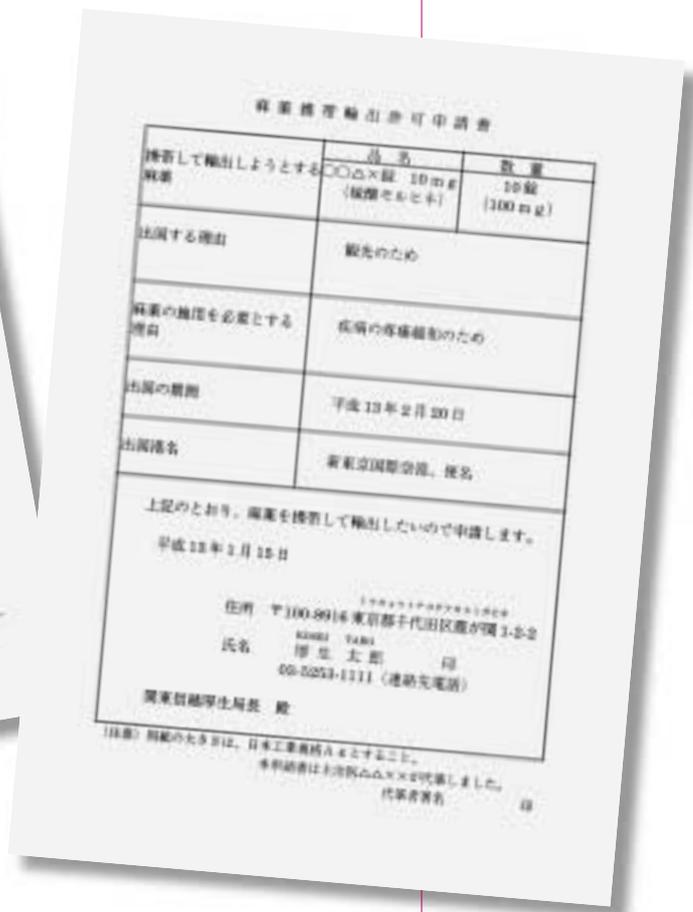


表5 癌疼痛防止のために麻薬を持参する場合の申請書のサンプル

外旅行に癌疼痛防止のための麻薬を持って行く場合は、正式には日本サイドの手続きもあります。

表5は、その申請書のサンプルです。この申請書と医師の診断書を地域の厚

生局麻薬取締部に提出し、許可をもらうことが原則です。長期で多量になる場合は、特にこの点に注意してください。

向精神薬に関しては、持ち出す総量

が表6(医療用向精神薬)に表示された量以下の場合、特別な手続きは不要です。総量を超える場合および注射剤に関しては、書類提出が義務づけられています。

### 第1種向精神薬

セコバルピタール( 6g )	メクロカロン( 9g )
フェネチリン( 3g )	メチルフェニデート( 1.8g )
フェンメトラジン( 2.25g )	ジベプロール( 9g )

### 第2種向精神薬

ブタルピタール( 4.5g )	グルテチミド( 15g )
アモバルピタール( 9g )	ペントバルピタール( 4.5g )
ブプレノルフィン( 36mg )	シクロバルピタール( 6.75g )
カチン( 1.5g )	フルニトラゼパム( 60mg )
ペンタゾシン( 18g )	

### 第3種向精神薬

アミノレクス( 300mg )	ベモリン( 6g )
エチナメート( 30g )	フェノバルピタール( 6g )
フェンカンファミン( 1.8g )	メチルフェノバルピタール( 12g )
エチランフェタミン( 1.8g )	セクブタバルピタール( 3.6g )
エスクロルビノール( 22.5g )	ロラゼパム( 90mg )
ロルメタゼパム( 60mg )	デロラゼパム( 180mg )
クロキサゾラム( 360mg )	トリアゾラム( 15mg )
フルラゼパム( 900mg )	ブラゼパム( 600mg )
テトラゼパム( 12g )	クロラゼパム( 900mg )
ケタゾラム( 900mg )	オキサゼパム( 2.7g )
テマゼパム( 900mg )	カマゼパム( 1.8g )
ピナゼパム( 600mg )	ノルダゼパム( 450mg )
メダゼパム( 900mg )	ジアゼパム( 1.2g )
オキサゾラム( 1.8g )	ハラゼパム( 4.8g )
クロチアゼパム( 900mg )	マジンドール( 90mg )
クロナゼパム( 180mg )	ロブラゾラム( 60mg )
エスタゾラム( 120mg )	ロフラゼパムエチル( 60mg )
クアゼパム( 900mg )	フルジアゼパム( 22.5mg )
ミダゾラム( 450mg )	メフェノレクス( 1.41g )
クロルジアゼボキシド( 1.8g )	アルブラゾラム( 72mg )
クロバザム( 2.4g )	アロバルピタール( 3g )
アンフェプラモン( 2.25g )	バルピタール( 18g )
メチプリロン( 12g )	ニトラゼパム( 450mg )
ニメタゼパム( 150mg )	ピブラドロール( 180mg )
プロピルヘキセドリン( 2.25g )	レフェタミン( 3g )
フェンジメトラジン( 3.15g )	フェンテルミン( 1.125g )
ゾルピデム( 300mg )	プロバレロン( 2.4g )
プトバルピタール( 6g )	プロチゾラム( 15mg )
プロマゼパム( 450mg )	ハロキサゾラム( 300mg )
ベンツフェタミン( 1.5g )	フェンプロボレクス( 360mg )
メソカルブ( 900mg )	ビニルピタール( 4.5g )
メプロバメート( 18g )	

日本でしか通用しない名称のついた白い粉薬を多量に持参し、英語の話せない日本人は何の疑いももたずにミッドナイト・エクスプレスになる危険性と隣合わせています。

注射器、治療薬としての麻薬類、睡眠薬や白い粉末状の薬を所持する時は、英文薬剤証明書を持参するのが世界の標準ルールです。



#### 関東信越厚生局 麻薬取締部

〒153-0061  
東京都目黒区中目黒 2-4-14  
TEL : 03-3719-8111  
FAX : 03-3719-8116

#### 診断書、薬剤証明書・各種証明書の 医師による医療翻訳

オブベース・メディカ Corp.  
TEL : 03-5414-7100  
FAX : 03-3403-5861

表6 医療用向精神薬

左表にはお薬の成分の一般名が記されています。いわゆるお薬の名前とは異なる場合があります。ご自分の使用しているお薬がこれらの向精神薬を含んでいるか否かについては、医師、歯科医師、薬剤師などに確認してください。